

# 筑波大学WWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム構想概要

開発構想 「国際フィールドワークを通じて持続可能な国際社会を創る人材育成システムの構築」

**育成する人材像**

SDGsの課題解決、広い視野と専門性、新たな分野同士の融合によりイノベーションを起こす、世界の架け橋

**FWが必要な理由**

海外の現場でグローバルリアリティーを知り(1次情報)海外連携校とのPBLで国際協働力を育成するため

## 管理機関の将来構想

**短期的目標  
(1~3年)**

アセアン地域における各プログラムとAL-Networkを充実させる

**中期的目標  
(3~5年)**

アセアン地域から世界発展を開始

高校生国際SDGs会議の開催

**長期的目標  
(10年)**

アセアンでAL-Network Modelを構築し世界へ提言

世界の大学と附属学校群ネットワークを構築

SEAMEO準加盟国(7か国)との連携



## 筑波大学のコンピタンス



SGHの幹事校・管理機関



SSH事業17年の実績



国際交流71カ国・地域、計383協定のネットワーク



「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」加盟(国立大として初)



SEAMEO共同機関(Affiliate Member) 参画(国内で唯一)

SEAMEO schools' networkとの連携



## 拠点校におけるカリキュラム開発構想

**共通課題**

持続可能な開発目標(SDGs)の達成



SGH総合学科アセアンでの実績

・グローバルライフ  
(地球市民性教育)

・国内フィールドワーク  
(新潟県阿賀町)

・アセアンフィールドワーク  
(インドネシア、タイ、シンガポール・マレーシア)

・T-GAP  
(グループによるソーシャルアクション)  
・国際フィールドワーク  
(インドネシア)  
・連携校合同国際フィールドワーク  
(オーストラリア等)

・卒業研究(個人研究)  
・卒業研究チューター制度

**高大接続**

・筑波大学授業の聴講  
・研究室の個別指導  
・留学生とのディスカッション  
・大学生の海外派遣に同行  
→先取り履修

・高校版キャンパスinキャンパス

・高校生国際SDGs会議 発表・運営

・第2外国語(インドネシア語・ジャバネズ語等)

1年生

2年生

3年生

国内外トップ大学への進学

## AL-Network連携先例

・国際協力機構  
・海外省庁  
・海外大学  
・海外附属高校  
・グローバル企業  
等

